

血液内科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 臍帯血移植における Tac+Mini sMTX を用いた GVHD 予防法の有効性の検討—Tac+Standard sMTX を用いた GVHD 予防法との後方視的解析—

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 血液内科 教授 豊嶋 崇徳

[研究の目的] 臍帯血移植における GVHD 予防法として、タクロリムスと少量のメソトレキセートを用いた場合の有効性を、タクロリムスと通常量のメソトレキセートを用いた場合の治療成績と比較することで検討します。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

血液悪性疾患に対し、2004 年から 2018 年 7 月の期間に、臍帯血移植における GVHD 予防として、タクロリムスと少量のメソトレキセート（移植後 1 日目、3 日目、6 日目に $5\text{mg}/\text{m}^2$ の投与量）、またはタクロリムスと通常量のメソトレキセート（移植後 1 日目に $15\text{mg}/\text{m}^2$ 、3 日目、6 日目に $10\text{mg}/\text{m}^2$ の投与量）を受けられた方

○利用する診療情報

年齢、性別、疾患情報（診断名、病期、疾患リスク）、移植情報（HLA、細胞数、移植前疾患状態、移植前処置、GVHD 予防法、生着の有無（生着不全の場合はその原因）、GVHD 等の免疫反応、各種感染症および合併症、非再発死亡、再発、最終転帰）

[研究実施期間] 2018年10月1日～2019年1月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 血液内科 担当医師 白鳥 聡一

電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823